

一県内の健康医療分野に関わる図書の所蔵状況

～県立図書館の役割に注目して～

松本直樹（慶應義塾大学） 須賀千絵（実践女子大学）
江藤正己（学習院女子大学） 池谷のぞみ（慶應義塾大学）

背景と目的

- ・公立図書館はそれぞれの図書館システムでコレクションを構築し市民に対して健康医療分野の情報を提供
- ・同時に、県内でネットワークを構築し、一図書館システムでは提供できない資料を相互貸借・協力貸出で提供
- ・しかし、市民にとって図書入手の実質的基盤である一県内の所蔵状況の詳細は必ずしも明らかでない。
- ・本研究では和歌山県を対象に、県内で健康医療分野の図書をどのように所蔵しているかを明らかにするとともに、県立図書館の役割を明らかにする。
- ・RQ1：県全体で健康医療分野の図書をどのように所蔵しているか
- ・RQ2：質の高い図書はどのように所蔵されているか（それぞれ県立図書館の役割に注目）

調査方法

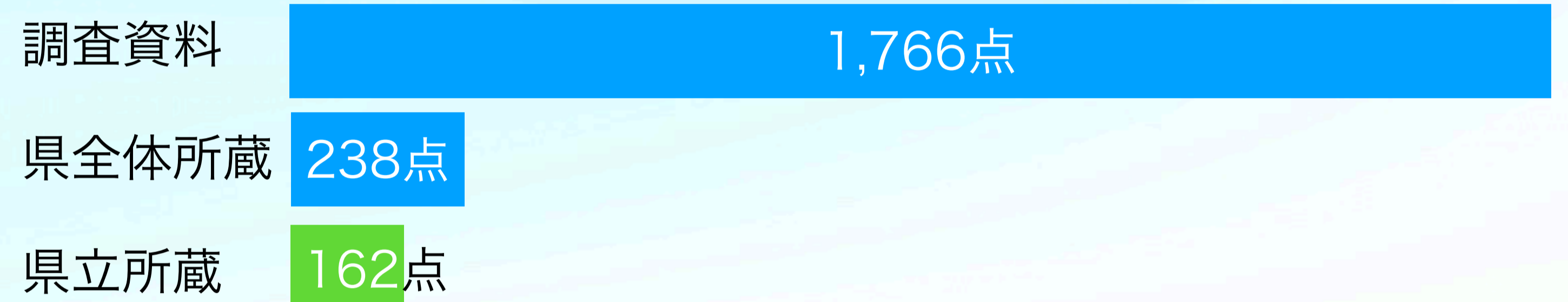
- ・対象図書は健康医療分野の図書のうち、2000年以降に刊行されたNDCが490番台～499番台
- ・うち、公立図書館の蔵書となりやすい、①金額が5,000円未満、②ISBNが付与、出版年が2000年以降、の図書
- ・対象図書の書誌データは、NDLサーチのOpenSearchを用いて2023年6月に収集
- ・条件に合致する90,537件のデータからランダムサンプリングにより1万件のデータを抽出
- ・対象図書館は蔵書検索システムを提供している16市町の公立図書館と県立図書館。所蔵に関わるデータはカーリルAPIを使用して2023年6月～7月に収集

調査結果

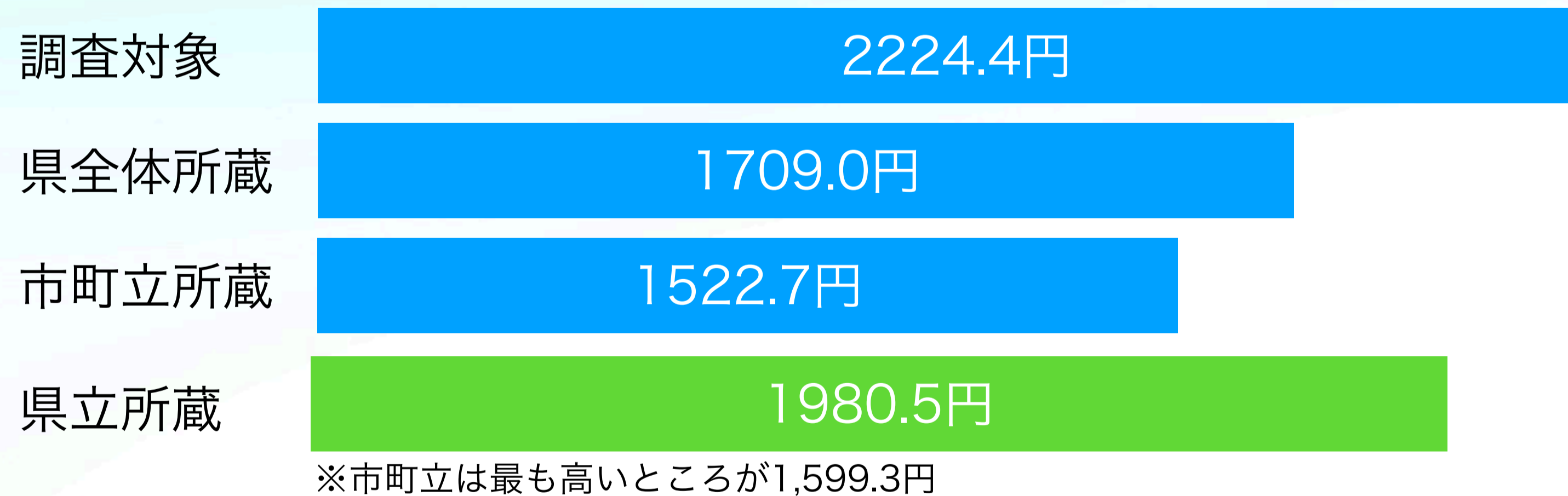
図書の所蔵状況



日本医書出版協会の所蔵（専門家向け図書の所蔵）



図書の平均価格

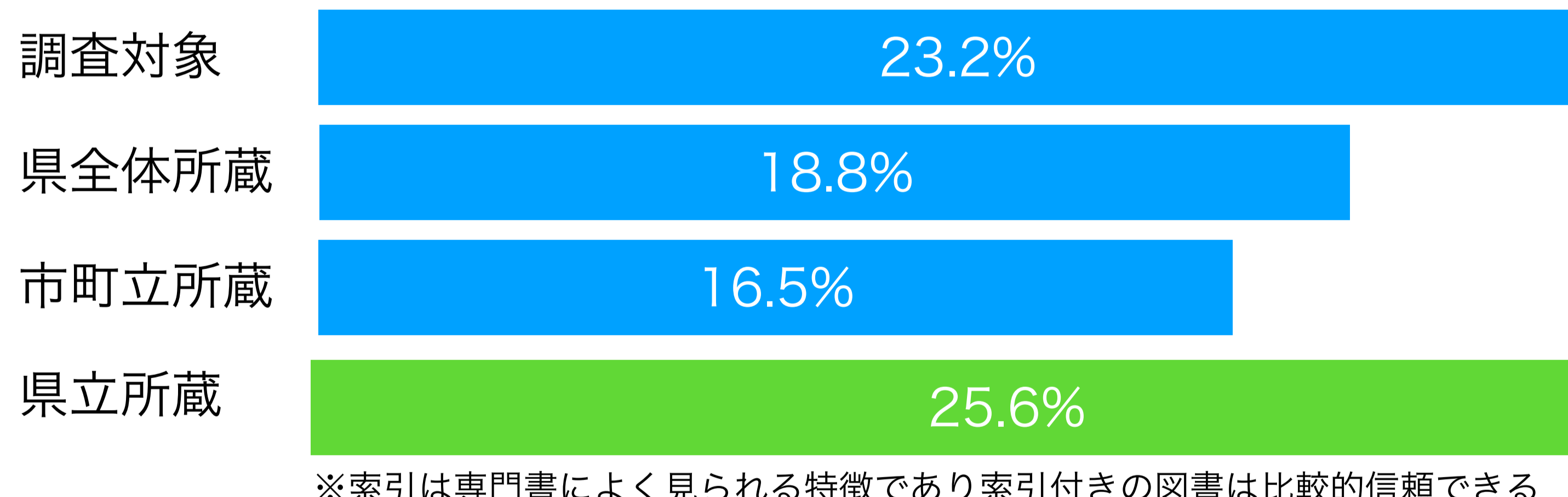


NDC（細目表）ごとの刊行点数と所蔵点数



※2014年以降の出版で、刊行点数20点以上の分野が対象。赤丸は貸出率が、緑丸は県所蔵が、比率上位10番目まで（各々18.2%、62.0%）。刊行点数は100点まで。

索引ありの図書の所蔵率（信頼できる図書の所蔵率）



考察

RQ1：県全体で健康医療分野の図書をどのように所蔵しているのか

・図書1万点のうち2,973点を所蔵／県内全体で見たときの複本は2.96冊／購入図書の平均価格は1709.0円。市町立は1522.7円／索引あり図書の比率は18.8%。比率は必ずしも高くない／日本医書出版協会の図書は県全体では238点。専門家向けの図書はあまり所蔵せず／刊行図書数と県全体の所蔵数は一定程度関連がある分野によって違いも見られる。

RQ2：質の高い図書はどのように所蔵されているか

・県立図書館は市町立が所蔵していない図書を顕著に多く所蔵（県立独自所蔵594点）。県全体として広範囲の知識にアクセスできるようにしている／購入図書の平均価格は1980.5円。市町立より高価格の図書を購入／索引あり図書の比率は25.6%。市町立より比率が高い／日本医書出版協会の図書を162点所蔵。相対的に多く所蔵。信頼できる図書の県内への提供に一定の役割。

・今後の課題：個別の図書館職員がどのような認識を持ちこうしたコレクション構築をしているかを明らかにすることは今後の課題。

1) 池谷のぞみ「動向レビュー：国内の公共図書館における健康医療情報サービスの最近の動向」『カレントアウェアネス』No.337, 2018.9, p.20-26.
2) 磯部ゆき江他「都道府県・政令市図書館の医療健康情報サービス：「公共図書館のがん情報サービスの課題：提供する資料・情報の視点から」調査報告」『現代の図書館』Vol. 56, No. 2, 2018, p.83-103.
3) 松本直樹他「公立図書館における医学薬学分野の選書分析」『日本図書館情報学会春季研究集会発表論文集』2017, p.9-12.